

## 第3戦 / 第4戦 フェスティカサーキット 瑞浪

## 全日本カート選手権 参戦報告書

■開催日：6月27～28日 ■天候：晴れ ■路面状況：ドライ ■参加台数：23台

### 澤田真治、初優勝 & 2位と大活躍！ 朝日ターボも第3戦で優勝！



4月上旬の開幕戦以来、約3か月のインターバルを経て、オートバックス全日本カート選手権 KF シリーズ 第3戦・第4戦が6月27～28日の2日間、岐阜県・フェスティカサーキット 瑞浪で開催された。

会場となるフェスティカサーキット 瑞浪は国内でも屈指の高速コースとして知られる。西地域シリーズの開催コースでもあり、西地域出身の澤田真治にとっては得意とするサーキット。また、昨年のKF開幕ラウンドでは朝日ターボが2連勝を飾るなどの実績もあり、チームも好結果を期待して大会に臨んだ。

今大会は西地域第3戦との併催となり、全クラスのQPまでを土曜日に消化する2日間開催とされた。

リタイア。神も順位を挽回したものの、最後にマシントラブルに見舞われリタイアとなった。

第3戦決勝、澤田が好スタートでトップをキープ。その後方に朝日らが続き、トップグループは3台となる。10周目頃からトップグループ3台が順位を入れ替えるようになり、澤田は一時3番手まで後退する。14周目、バックストレートエンドの11コーナーで朝日が仕掛けトップを奪うと、澤田もそれに続き2番手に浮上。両者はそのままの順位をキープし、朝日、澤田の順でチェッカーとなった。朝日は昨年の第4戦以来となる今季初優勝。澤田もKF自己最高の2位を獲得した。また宮田は8位まで順位を挽回、チャンピオンの意地を見せた。神は17位でチェッカーを受けた。

### Q.P. 澤田真治、トップタイムをマーク 神晴也も4番手、朝日ターボ5番手で続く

今回は1グループで行われたQP。計測開始から1分ほど経過すると、続々とコースインしていく。その中で、好調だったのが直前の公式練習でトップタイムをマークしていた澤田真治と神晴也。セッション終盤、めまぐるしく変わるリーダーボードのトップ表示。一時神がトップに表示されるが、最後の最後に澤田が逆転。ただ一人43秒を切る42.933をマークし、予選PPを獲得する。神は4番手、5番手に朝日ターボが続いた。しかし、宮田莉朋はマシンセットが合わずなかなかタイムを伸ばせずに20番手と遅れることとなった。

### 第3戦 朝日が逆転で今季初優勝！ 澤田も粘りを見せ2位を獲得！！

第3戦の予選ヒートでは、4番グリッドスタートの神がエンジン始動できずローリングから遅れてのスタート。レースは、序盤に順位を下げたもののすぐに逆転した澤田がトップでチェッカー。朝日が3番手で続いた。一方、追い上げのレースとなった宮田は、集団での走行中に前車と接触し

### 第4戦 澤田が予選、決勝ともに独走 完璧な走りでもKF初優勝、ランクトップへ

第4戦予選ヒートも、PPスタートは澤田。そのスタートもきれいに決めると、序盤のうちからハイペースで周回を重ね、後続を引き離していく。スリップ効果も高く、独走が難しいと言われる瑞浪で、2番手以下に大差をつけ独走。そのままチェッカーを受け決勝PPを獲得した。

迎えた決勝でも、スタートからブッシュした澤田が序盤にリードを築いていく。2番手争いが集団となったことも幸いし、早い段階で独走に持ち込んだ澤田は、中盤以降はペースコントロールをしながら周回を重ねていく。10周過ぎの段階で、リードは2秒以上に広がり、セーフティマージンを確保しながらレースを進めていく。一方、後続のグループからは朝日が抜け出し、単独の3番手を走行。トップの澤田は、最後は3秒以上のリードを保ってチェッカー。4戦目にしてKF初優勝を飾るとともに、この時点でのランキングトップへ躍り出た。朝日は3位表彰台を獲得。宮田は終盤のアクシデントなども上手く回避し6位でフィニッシュ。神はアクシデントによりリタイアとなった。

**TOYOTA**

**DUNLOP**

**MOTUL**





Driver's Voice

20 澤田真治

Q.P.:42.933(4位) 第3戦:予選/1位・決勝/2位 第4戦:予選/1位・決勝/1位

TOYOTA Support Driver



土曜日朝の時点では、少し首をかしげる部分もあったんですが、公式練習から走りもまとまって、メカニックの岡本さんがセッティングも良くしてくれたので、僕も走りやすくて公式練習、QPとトップタイム来られ流れは良かったです。もともと瑞浪は好きなコースなので得意でした。そのいい流れを持ってきていたんですが、第3戦の決勝ではタイヤマネージメント力のなさが出たんじゃないかなと思います。それが第4戦で解消されたというわけではないんですが、QPがないだけ周回数も少なく、タイヤは楽な状態でしたし、展開的にも予選、決勝とも楽な展開となったので、タイヤを気にせず走ることができました。決勝はスタート後4~5周はブッシュしたんですが、それで後ろと差が開いたので、その

後はやりながらブッシュせず、エンジン、タイヤを抑えつつ走れたので良かったです。前半は攻めていたので、そのまま走っていたら危ないかなという感じでしたが、楽に走れる状況を作ったので、ペースも多少は落とし、いい展開だったと思います。

瑞浪では勝ちたくて仕方なかったので、嬉しかったですし、ダンロップの皆さんやチームの皆さんも良くしてくれているので、結果を出せて嬉しかったです。茂原はテストで走りましたが、レースウィーク含めて当日に調子を合わせていけるように頑張ります。これからも応援をお願いいたします。



1 宮田莉朋

Q.P.:43.524(20位) 第3戦:予選/21位・決勝/8位 第2戦:予選/10位・決勝/6位

TOYOTA Support Driver



QPはシャシーとエンジンの問題点が多く、100%走り切れず残念な結果に終わってしまいました。第3戦の予選は僕が焦っていた部分もあって接触でパーツを破損させてしまい、リタイアという結果となってしまいました。決勝ではスタッフが車を直してくれたおかげで、戦える状態となりましたが、もう少し予選で焦らずにいられば、上に行けたのではないかなと思っています。第4戦は、今週ずっと抱えていたエンジンの問題が予選も決勝もだんだん大きくなってしまい、その状況の中、ベストを尽くして走ることを考えていました。その結果がレースの結果となったので悔しい思いもありますが、今回の結果が自分の実力ではないので、次回の茂原までにはしっかりシャシー、エンジンを立て直せるように見つけて頑張りたいと思う。今回は、前回のもてぎでの問題点は改善できたつもりだったが、まだ改善しきれなくて応援してくれる方々に残念な結果となってしまいましたが、時自分のベストは尽くしたので、次の茂原も応援よろしくをお願いします。



21 神 晴也

Q.P.:43.032(4位) 第3戦:予選/23位・決勝/17位 第4戦:予選/7位・決勝/21位



土曜日までは調子が良く、トップタイムも出ている、QPもそこそこの位置にいたんですが、日曜日に予選と決勝を迎えると、第3戦の予選はエンジンがかからず最後尾からのスタートとなってしまいました。途中、10番手くらいまでは上がったんですが、その後エンジンが焼き付きリタイアとなってしまいました。決勝は、また最後尾からのスタートで、そのままゴールしてしまいいい結果を残すことができませんでした。第4戦の予選も、7番手をキープしていましたがエンジンが焼き付いてしまいました。第4戦決勝へ向け、エンジンを再登録して最後尾スタートとなってしまいました。その決勝も抜いたあとに当てられてリタイアとなってしまいました。今回は、運も悪かったですし、自分の実力も足りなかったんで次の茂原では実力を上げて、勝ちに行けるようになります。



2 朝日ターボ

Q.P.:43.066(5位) 第3戦:予選/3位・決勝/1位 第4戦:予選/5位・決勝/3位



この週末はずっと調子は悪く、ずっと悩んでいたんですが、土曜日のQPになって、全てリセットをしたらタイムが上がりました。方向性は見つけたんですが、見つかるのが遅かっただけに、そこから先の進化がなかなか見つかりませんでした。第3戦は勝ったんですが、ギリギリの状態だったので、第4戦の予選に向けてどう変えていくか悩み、予選で上手く順位を上げられませんでした。決勝も、少し変えていったんですが、後半寄り過ぎたのかなと思います。序盤の競り合いで上手く抜け出なかったこと、他のタイヤメーカーのドライバークラスに入ったことで、少しやっかいな展開となりました。それが第4戦で勝てなかった原因かなと思います。茂原はテストの時には悪くなかったので、優勝した一昨年のイメージで臨もうと思います。また、今回は多くのサポートのおかげで優勝することができました。ありがとうございます。





澤田はKFでドライのレースが初めてだったが、今回は調子が良く練習からトップタイムを記録し、QPもトップタイムで予選のPPも獲得できた。第3戦は、初めてのドライコンディションでの決勝でタイヤのマネージメントも初めてだからわからないという状況では、上出来だった。最後はもったいなかったが、何とか2位でおさまったのは良かったと思う。デビュー3戦目でここまで来たと思う。第4戦は、予選からいい走りをしていて、澤田にはタイヤセーブは考えず、ルーキーなのだから守る必要もないと伝えた。予選からブッシュさせ、タイヤを保たせるのではなく、「持てばいい」と考えるように指示し予選1位、決勝1位とフルポイントを獲得できた。周囲は持たないのではと思っていたようだが、最後まで持たせることができた。最後は、本人はセーブしていたと言うが、他と変わらないタイムで走っていた。セーブしながらも、あのタイムで走れたのは完璧な勝利だった。

澤田はジュニアの頃からチームで育成してきたドライバーで、結果を出してくれたのは育ててきた甲斐があり嬉しい。スタッフも良い車を作ってくれたし、メカニックもいい仕事をしてくれた。第3戦の最後に苦しかったところを、第4戦では最後まで速く走れる車に仕上

げてくれた。

朝日も第3戦では優勝し、第4戦では最後まで頑張って1-2をとってくれば良かったとは思いますが、いいレースだった。宮田はQPで失敗してしまったのでそこを改善していきたい。今年は開発を担うチームに属しているが、それが少し重圧となっているのかもしれない。ただ、それはタンロップの開発ドライバーとしてしっかりと仕事をしなければならない。最後はきちんと上位へと上がってきているところは評価できる。

ルーキーの神もQPは頑張っていた。今回は不運もいっぱいあったが、速さを見せることはできた。

今週はチーム全体的にいい週末だった。瑞浪は練習も重ねたコースなので、その甲斐があっただろう。

今回は、さまざまなご支援のおかげで、最高の結果を残すことができました。これからも応援お願いいたします。

## RESULTS

### 第3戦

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire Q.F.	Q.H.
1	2 朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL 43.066 5	3
2	20 澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL 42.933 1	1
3	3 阪口晴南	DRAGO CORSE	MADCROC	TM	DL 43.028 2	2
4	12 山川仁也	スクーテリア LCT	TONYKART	TM	DL 46.878 23	8
5	8 清原亮太	SCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS 43.028 3	10
6	5 佐々木大樹	INTREPID JAPAN	INTREPID	TM	BS 43.236 7	13
7	18 菅波冬悟	SCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS 43.163 6	5
8	1 宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL 43.524 20	21
9	16 黒岩靖広	MAD-CROC Karting	MADCROC	TM	DL 43.307 10	7
10	30 太田格之進	TOYOTA YAMAHA RACING TEAM	SWF	IAME	BS 43.342 13	22
17	21 神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL 43.032 4	23

### 第4戦

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire Q.F.	Q.H.
1	20 澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL 42.933 1	1
2	12 山川仁也	スクーテリア LCT	TONYKART	TM	DL 46.878 23	8
3	2 朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL 43.066 5	5
4	18 菅波冬悟	SCCEED SPORTS Jr.	CRG	TM	BS 43.163 6	6
5	3 阪口晴南	DRAGO CORSE	MADCROC	TM	DL 43.028 2	2
6	1 宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	EXPRIT	TM	DL 43.524 20	10
7	16 黒岩靖広	MAD-CROC Karting	MADCROC	TM	DL 43.307 10	9
8	24 高橋悠之	TONYKART RACING TEAM JAPAN	TONYKART	VORTEX	BS 43.377 15	12
9	5 佐々木大樹	INTREPID JAPAN	INTREPID	TM	BS 43.236 7	4
10	15 三村壮太郎	MAD-CROC Karting	MADCROC	TM	YH 43.318 11	13
DNF	21 神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	EXPRIT	TM	DL 43.032 4	7

## ポイントランキング

Pos.	Driver	Team	累計有効
1	澤田真治	EXPRIT TAKAGI RACING	113 113
2	朝日ターボ	MASUDA RACING PROJECT	109 109
3	阪口晴南	DRAGO CORSE	84 84
4	宮田莉朋	MASUDA RACING PROJECT	83 83
5	三村壮太郎	MAD-CROC Karting	81 81
6	山川仁也	スクーテリア LCT	79 79
7	黒岩靖広	MAD-CROC Karting	58 58
8	大湯都史樹	TONYKART RACING TEAM JAPAN	48 48
9	菅波冬悟	SCCEED SPORTS Jr.	43 43
10	佐々木大樹	INTREPID JAPAN	34 34
11	神 晴也	EXPRIT TAKAGI RACING	33 33

## 全日本選手権西地域シリーズ

TAKAGI PLANNING レーシングチームでは、若手ドライバーの育成をテーマに、KFの下位カテゴリーである全日本選手権西地域シリーズFS125クラスへも参戦しています。直近の大会の結果は下記の通りです。若手ドライバーの活躍にもご期待ください。

### 西地域第2戦中山大会 5月10日 晴れ/DRY

●全日本選手権 FS125クラス (15台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	13 富田自然	Tech Miyazawa Snap-on motorsport	KOSMIC	IAME	BS	30.5776	3
2	17 佐藤巧望	INTREPID JAPAN	INTREPID	IAME	BS	30.4294	4
3	20 宮下源都	チームナガオ	EXPRIT	IAME	BS	30.3932	2
9	21 三澤拓真	アチーブメント RSS レーシング	EXPRIT	IAME	BS	30.6721	108

### 西地域第3戦瑞浪大会 6月28日 晴れ/DRY

●全日本選手権 FS125クラス (20台)

Pos No	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.F.	Q.H.
1	21 三澤拓真	アチーブメント RSS レーシング	EXPRIT	IAME	BS	45.8852	1
2	20 宮下源都	チームナガオ	EXPRIT	IAME	BS	46.0206	6
3	23 環 優光	T.EMATY	TONYKART	IAME	BS	45.8781	2



TAKAGI PLANNING  
元F1 & IRLドライバーの高木虎之介が代表を務め、カートショップならびにレーシングカートチームの運営、若手ドライバーの育成、ジュニアカートスクールなど普及活動も展開している。  
〒422-8046 静岡県静岡市駿河中島902

## EXPRIT TAKAGI RACING



代表：高木政巳  
監督：高木虎之介  
ドライバー：#20 澤田真治 #21 神晴也  
メカニック：岡本康裕 (澤田真治担当) 高井美豪 (神晴也担当)  
使用マテリアル  
CHASSIS：EXPRIT  
ENGINE：TM  
TYRE：DUNLOP  
※なお今季は昨年から続いている MASUDA RACING PROJECT との連携を強化し、ドライバー宮田莉朋を派遣するとともに同チームへ EXPRIT シャシーを供給しています。



代表：増田二三四  
監督：高木虎之介  
ドライバー：#1 宮田莉朋 #2 朝日ターボ  
使用マテリアル  
CHASSIS：EXPRIT  
ENGINE：TM  
TYRE：DUNLOP

